

## 第36回全国高等学校文芸コンクールについて

R3. 12. 13 文化課

- 1 大会日程：(1) 応募期間 令和3年8月19日～9月10日  
(2) 審査日 令和3年10月16日  
(3) 表彰式 令和3年12月18日  
国立オリンピック記念青少年総合センターにて
- 2 応募部門：①小説②文芸評論③随筆（エッセイ）④詩⑤短歌⑥俳句⑦文芸部誌
- 3 主催者：公益社団法人全国高等学校文化連盟、読売新聞社
- 4 最優秀賞受賞者

部門	受賞者名	成績
俳句	大分県立大分豊府高等学校 3年 岡田 凜	最優秀賞 全国文芸専門部会長賞

※大分県勢では、平成26年度の詩部門以来7年ぶりの最優秀賞  
参加状況（俳句部門）：応募総数13687点→都道府県選考2967点→最優秀賞1点

## 【最優秀賞作品概要】

○作品「実南天 心機一転 赤リップ」（みなんてん しんきいってん あかりっぷ）

○実南天は秋～冬の季語。

○この句は少し背伸びをして口紅を試してみる女子高校生を詠んだ句。

「心機一転」というのは、失恋からの立ち直りをイメージしている。背伸びをして、使ったことのないような実南天のように艶のある赤い口紅を塗り、失恋前の自分から変わろうとしている女子高生の姿を詠んでいる。失恋を経験したことで、少しまた大人になり、前を向いて進んでいこうとする姿が詠まれている。

実体験に基づいたものではないが、作者は高校2年生の頃、初めて赤い口紅を買い、初めて塗った時の、少し大人に近づいたようでうれしくもこそばゆいような不思議な気持ちになった経験が、この作品のヒントにもなっている。

## 5 その他受賞者

部門	受賞者名	成績	題名・部誌名
小説	大分県立爽風館高等学校 2年 古川 瑞葵	優秀賞	「亜麻色の川面」
詩	大分県立大分豊府高等学校 3年 岡田 凜	入選	「普通的女子高生」
文芸部誌	大分県立大分上野丘高等学校 文芸部	奨励賞	青窓 87号